

鹿王院は臨川寺の東にあり、禪宗にして十刹なり。仏殿の本尊は釈迦仏、脇士に十六羅漢を安置す、運慶の作。開基普明国師の像、尊氏公の像は右の壇上に安置す。当寺の本願は將軍義満公にして至徳元年の建立なり。什宝に仏舍利あり。「伝に曰、鎌倉將軍実朝公の霊夢によりて、宋国へ賜物をつかはし、仏舍利を伝来し、相州の大慈寺に安置す。後光厳院帝の時、夢窓国師に勅して禁裏に収り、其後夢窓の弟子普明国師に賜る、今当寺にあり。毎年十月十五日舍利会を修す」